

1. 科目名 (単位数)	保育カリキュラム論／保育・教育課程論 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP3109
2. 授業担当教員	関 容子		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>保育所保育、幼稚園教育の目的と方法の基本を確認し、保育課程・教育課程の意義を示し、その編成の仕方を実際の子どもの発達、生活に照らしながら理解できるようにする。保育は子どもの自発的な興味関心や個人差に応じて実践することを踏まえ、保育・教育課程と指導計画との質的差異を理解し、保育者の教育的意図を子どもの主体的な生活の中にどう反映したらよいか具体的に示す。さらに、実践においては子どもの実態に対応しながら計画の修正をどのようにするか、一日の保育の評価反省をどうするかを扱いながら、保育における計画性と偶発性の双方の意味の理解を深める。ボトムアップによる計画作成の方法を長期指導計画と短期指導計画との関連から理解できるようにする。以上を通して、保育所保育指針、幼稚園教育要領等に示されている保育課程・教育課程、指導計画の考え方を正しく理解し、実践に結びつける力を養う。</p>		
8. 学習目標	<p>1 カリキュラムについての基礎的理解ができるようになる。 2 保育における計画—実践—評価 (反省) の関係を理解できるようになる。 3 保育課程、教育課程と指導計画との関係、および長期指導計画と短期指導計画の関係を理解し、実践に結びつけることが出来るようになる。 4 長期指導計画、短期指導計画の立て方が分かり、一日の指導計画を作成する。 5 保育実践の反省の仕方がわかり、計画の修正への過程を理解できるようになる。 6 子どもの発達の把握と指導要録、保育児童要録の意義と書き方を理解できるようになる。</p>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>ワークシートやレポート課題を課します。提出日は指示します。 教科書をしっかり読んでください。子どもをよく観察し、そこから導き出される計画の在り方やふさわしい環境構成を考えます。子どもたちの生活や遊びが充実するよう、そして、それぞれの子どもたちにとってふさわしい保育となるための計画について考え、レポートを作成します。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】『幼児教育・保育カリキュラム論』河邊貴子編著 東京書籍、2019 年 【参考書】 保育所保育指針、保育所保育指針解説 (平成 29 年 3 月告示 厚生労働省) 幼稚園教育要領、幼稚園教育要領解説 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 (平成 29 年 3 月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 1 保育、教育課程の目的内容及び、保育計画、指導計画の必要性を理解する。 2 長期の指導計画、短期の指導計画の作成法と両者の関係を理解する。 3 保育所、幼稚園の園行事や日常の指導計画の手続きを理解することができる。 4 実際に短期指導計画を作成できる。 ○評定の方法 授業への参加度 30%、小レポート・中間課題 30%、期末レポート課題 40%として総合的に判断する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>指導案を作成するときには、子どもの姿や生活を思い浮かべます。実習では、それぞれの子どもの特性や個人差を考えて計画を立てることは難しいですが、各年齢の子どもたちにどのような育ちや発達が見られるのかをしっかりと理解しておくことが必要です。個人差や経験による違いがあることを理解しながら、しっかり子どもの姿を把握しておきましょう。</p>		
13. オフィスアワー	別途通知します		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	保育の計画・幼稚園教育課程とは何か	事前学習	教科書の第 1 章を読み、保育の計画・幼児教育課程とは何かを理解する。
		事後学習	子どもの遊びや経験が積み重ねられるような計画作成に必要な視点を考えてみる。
第 2 回	カリキュラム編成の留意点と指導計画の種類	事前学習	教科書の第 1 章 pp.9-15 を読み、指導計画の種類を理解する。
		事後学習	指導計画作成の手順と留意点について確認する。
第 3 回	幼稚園における教育課程	事前学習	幼稚園教育要領第 1 章総則を読み、幼稚園教育の基本について理解する。
		事後学習	幼児の主体的な遊びが保障される保育課程を作成し、保育の展開をイメージする。
第 4 回	保育理念、保育方針と教育課程	事前学習	教科書の第 2 章 pp.22-26 を読み、教育課程が各幼稚園の保育の基本とすることを理解し、考えをまとめる。
		事後学習	各園の特色や地域性など、それぞれの園の教育課程との関連を理解する。
第 5 回	保育所における計画と評価	事前学習	教科書の第 3 章と保育所保育指針第 1 章総則及び解説を読んで、全体的な計画と指導計画の作成について確認する。
		事後学習	長期的指導計画、短期的指導計画、その他の計画について、理解する。
第 6 回	保育所における評価	事前学習	教科書の第 3 章と保育所保育指針第 1 章総

			則及び解説を読んで、保育の計画及び評価について理解する。
		事後学習	PDCA サイクルと保育の質の向上の関係について確認する。
第7回	こども園の特徴	事前学習	教科書の第4章を読んで、こども園の特徴について予習してくる。
		事後学習	一律でない生活の流れを理解し、全員が揃わない保育の工夫を自分なりに考える。
第8回	乳児保育のカリキュラム	事前学習	教科書の第5章を読んで、個々発達に応じた生活の流れについて具体的にイメージしてみる。
		事後学習	児童票や個別の指導計画の必要性について、考えをまとめてみる。
第9回	乳児の記録の実際	事前学習	教科書の第5章 pp.52-58 を読んで、乳児期の留意点と保護者との連携を考える。
		事後学習	子どもの24時間を意識した記録の視点と残すべきポイントについて理解する。
第10回	1歳以上3歳未満児の保育	事前学習	教科書の第6章 pp.59-63 を読んで、1歳以上3歳未満児の特徴を把握する。
		事後学習	保護者の就労状況による家庭環境の違いを理解した配慮事項について考えをまとめる。
第11回	1歳以上3歳未満児の指導計画	事前学習	教科書の第6章 pp.63-671 を読んで、求められる指導計画を知る。
		事後学習	子どもの成長記録と、保育者の援助と配慮事項について、その視点を理解する。
第12回	3歳児の指導計画	事前学習	教科書の第7章を読んで、3歳児の育ちの特徴を確認してくる。
		事後学習	3歳児で育てたい姿から1年間の育ちを見通して年間指導計画を説明できるようにする。
第13回	4歳児の指導計画	事前学習	教科書の第8章を読んで、4歳児の育ちの特徴を確認してくる。
		事後学習	子どもが興味の幅を広げたり、イメージを実現する方法に出会う4歳児の具体的な姿をあげてみる。
第14回	5歳児の指導計画	事前学習	教科書の第9章を読んで、5歳児の育ちの特徴を確認してくる。
		事後学習	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」につながる育ちが、どんな活動を通して育まれているか、自分の考えをまとめる。
第15回	指導要録・児童保育要録・個別の支援計画作成のポイントとまとめ	事前学習	指導要録・児童保育要録に記載する事項と様式の参考例を読んでくる。
		事後学習	日常保育の延長に「要録」があることを理解する。特別な支援が必要な子どもをつなぐ記録についても理解する、保育におけるカリキュラムの意味をまとめる。